

平成28年度 県立総和工業高等学校自己評価表

| 目指す学校像 | すべの機会をとらえ、実生活との調和のもとに、次の要素を備えた生徒の育成を期し、これに対する具体的な方策を立ててその達成に努力する。 1 真理と正義を愛する 2 個人の価値を尊ぶ 3 勤労と責任を重んずる 4 高い自主的精神をもつ 5 創意工夫の能力を育成する | | | |
|--|--|---|------|---------------|
| 昨年度の成果と課題 | 重点項目 | 重点目標 | 達成状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の不足は授業に対する興味関心意欲に大きく影響し、進学や就職活動にも同様の事が言える。そこで、授業規律の確立を図ると共に授業改善によるわかりやすい授業を展開し、基礎学力の向上に努めたい。 学年に応じたキャリア教育を充実させ、目的意識を持たせて学習に取り組むことにより進路意識の育成を図りたい。また、進路決定100%を継続する。 基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成を図り、モラルやマナーを備えた生徒を育成したい。 多くの生徒が資格・検定試験への積極的な取組を見せているが、今後は学科の特性を生かした、より上位の資格・検定試験に挑戦させたい。 全国大会や関東大会に参加した部がある反面部活動はあまり活発でないので加入率を高め部活動の活性化を図る。 | 学習意欲を高める授業・実習の工夫改善 | ①授業規律の確立と基礎的・基本的な内容を重視し、確かな学力の定着を図る。 ②観点別評価を活かした学習活動に努め、授業・実習の工夫改善を図る。 ③ものづくり教育を推進させ、専門的な知識や技術の習得と、資格取得につなげる。 | | |
| | 道徳教育の推進と基本的な生活習慣の確立 | ④規範意識の高揚を図り、基本的な生活習慣を身につけさせる。 ⑤道徳教育やいじめ防止対策推進体制を確立し問題行動等の未然防止に努める。 ⑥ルールやマナーの向上を図り交通事故防止に努める。 | | |
| | 健康や体力を育み学校全体の活性化 | ⑦部活動やホームルーム活動等を充実させ、生徒の主体性を育む。 ⑧学校行事等を通して、生徒の自主性・自律心を育成し、学校全体の活性化を図る。 ⑨特別活動の充実を図り、体験的活動を通して自発的・自治的な態度の育成に努める。 | | |
| | 社会の変化に対応した生きる力の育成 | ⑩キャリア教育を推進し、勤労観・職業観の育成を図り、進路希望の実現を目指す。 ⑪企業体験学習や進学支援を充実させ、主体的に進路選択ができるようにする。 ⑫校内環境の美化に努め、よりよい生活環境の創造のための実践的な態度を育成する。 | | |
| | P T A活動の活性化と地域社会との連携 | ⑬P T A活動の活性化のため、保護者との連携と行事の工夫改善を推進する。 ⑭地域イベントやボランティア等に積極的に参加し、本校の特色をアピールする。 ⑮防災力推進の観点から、ものづくりを活かし地域社会との連携を推進する。 | | |
| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 評価 | 次年度(学期)への主な課題 |
| 教務部 | 授業時間の確保と確かな学力の定着を図る。 | 授業交換を確実にし、授業時間の量的確保に努めるとともに、授業の始終時刻の遵守を推進する。 ① | | |
| | | シラバスの内容をより一層充実させ、観点別評価を活かした授業・実習の工夫改善を図る。 ② | | |
| | | 生徒の確かな指導の推進と、保護者との連携を深める。 ② | | |
| | 本校PR活動の活性化を図る。 | 学校組織全体で、実習公開・学校説明会・体験教室に取り組み、さらなる充実を図る。 ⑭ | | |
| | | 学校案内等の資料やPR方法の検討を行い、充実したPR活動を図る。 ⑭ | | |
| | 生徒の学習習慣の確立と基礎学力の向上を図る。 | 各学年が連携し、「朝の学習の時間」の効果的な実施と内容の充実を図る。 ④ | | |
| 補習授業等の工夫改善を行い、全ての生徒に対して計画的な指導を実現する。 ①② | | | | |
| 円滑な教育活動の推進を図る。 | 保護者との連絡を密にし、生徒の課題改善を促す。 ②⑥ | | | |
| | 格校務分掌や委員会、学年、教科との連携を深め、学校行事の効率的な実施に努める。 ⑧ | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|--|-----|---|---|---|
| 進路指導部 | 進路意識の向上を図る。 | 定期的に進路ガイダンスを導入し希望進路の実現を促す。 | ⑪ | A | B | 工場見学、インターンシップの取り組みについてを学年との連携がとれなかった。キャリアプランノートについては昨年度も発行していないので課題である。 |
| | | タイムリーに昨年までのキャリアプランノートの一部を発行する。 | ⑪ | C | | |
| | | 各種適性検査を導入し、客観的に自己を認識させ進路選択に役立たせる。 | ①⑪ | A | | |
| | | 「高大連携事業」の出前授業やオープンキャンパスへの参加を促し進学を実現させる。 | ①⑪⑭ | A | | |
| | | 工場見学、インターンシップにて職業観・勤労観を育成する。 | ①⑪⑭ | C | | |
| 進路達成の充実を図る。 | | 情報の提供に努める。閲覧室を有効的に活用する。 | ⑪⑫ | B | | |
| | | 面接指導の充実を図る。 | ⑪ | A | | |
| | | 書類作成についての留意点を周知徹底する。 | ⑪ | A | | |
| | | 希望進学先・希望就職先についての研究を徹底させる。 | ①⑪ | A | | |
| 生徒指導部 | 学生生活の根本である「授業規律」を確立することにより、自己の規範意識、基本的な生活習慣や社会のルールを見直すことができる生徒を育成する。 | 朝の立哨指導、昼休みの校内巡視および毎月の頭髪服装検査等を、全職員共通理解のもとで実施するとともに、問題行動の早期発見・早期対応と未然防止に努める。 | ④⑤⑥ | | | |
| | | 道徳の授業や進路指導部との連携行事により、道徳的な態度や考え方を育み、常に進路実現を意識した活動や社会の一員として自覚のある心身を育成する。 | ④⑤⑩ | | | |
| | | 各学期毎のマナーアップ週間、毎週水曜日、生徒会によるあいさつ運動、マナーアップキャンペーン参加等とおして、モラルやマナーの向上に努める。 | ④ | | | |
| | | 毎月の生徒情報交換会をとおして、生徒に関する情報を共有し、保護者との密な連携を取りながら、いじめ問題、問題行動等の未然防止に努める。 | ⑤⑥ | | | |
| | | 携帯電話やインターネットの安全利用について、生徒、保護者の意識を高めるための講演会や安全教育を推進する。 | ④⑤ | | | |
| | | 交通安全教育の充実とともに、交通マナーの向上、交通事故の未然防止を図る。 | ④⑥ | | | |
| 特別活動部 | 生徒会活動・学校行事等の活性化を図る。 | 交通安全教室を各学年毎に実施し、交通ルールの遵守、マナーの向上および交通事故の減少に努める。 | ④⑥ | | | |
| | | 各学期毎の自転車、バイク点検およびマナーアップ週間等の登下校指導により、交通安全意識の高揚を図る。 | ④⑥ | | | |
| | | 教育相談体制の充実と職員間の連携を図る。 | ④⑤ | | | |
| | | 生徒会役員が中心となり、各クラス・各専門委員会と連携をとりながら、より良い学校生活をおくるように工夫・改善をし、学校行事等を実施する。 | ⑧ | A | | |
| | | 積極的に部活動紹介を行い、各部活動の取り組み等の強化を図り、企業のニーズに答えられるように指導をし、部活動加入率の向上に努める。 | ⑦⑧ | B | | |
| 特別活動部 | 各生徒会専門委員会の活動の向上を図る。 | 各専門委員会の年間活動を検討し、生徒会とも連携をとりながら活動を充実するように努める。 | ⑨⑫ | B | | |
| | | 体験学習・ボランティア活動の推進を図る。 | ⑨⑭ | A | | |
| | | より良いHR活動ができるように年間計画を立て、活動を充実するように努める。 | ④⑥⑦ | C | | |
| | | 「図書だより」の刊行により図書委員の質の向上を図る。 | ①⑧ | B | | |
| 図書部 | 視聴覚環境の改善を図る。 | 視聴覚室利用の円滑化管理、運用を図る。 | ⑦⑧ | C | | |
| | | 什器を更新し、視聴覚室の利用環境の向上を図る。 | ⑧⑫ | B | | |
| | | 健康診断を通して、生徒の健康管理に努める。 | ④ | A | | |
| 保健厚生部 | 心身の健康指導に努め、規則正しい生活習慣の向上を図る。 | 感染症の予防に努めながら、生徒の基本的な生活習慣を促す。 | ④ | A | | |
| | | 学校敷地内の整備と清掃・美化に努めながら生徒が日々の生活の中で公共心を養うように努める。 | ⑫ | B | | |
| | | 扇風機、ストーブなどの安全使用管理に努める。 | ⑫ | A | | |
| | | 防災教育と奉仕活動の充実を図る。 | ⑫⑮ | B | | |

| | | | | | | |
|---------------|--------------------------------------|---|--|----|---|---|
| 渉外部 | P T A行事への参加率向上 | P T A総会，支部別 P T A等の内容検討。参加教員の意識向上を図る。 | ⑬ | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・ P T A総会の参加率向上 ・ 支部別 P T A等の検討 ・ P T A研修会の充実 |
| | P T A研修会の充実 | 各支部の協力の下，早めに具体的な実施内容を決定する。 | ⑬ | A | | |
| | ホームページ等の活用 | 保護者への連絡を徹底するための情報伝達システムの構築を検討する。 | ⑬ | B | | |
| 第1学年 | 基本的生活習慣を確立し，社会への適応力を身につけさせる。 | 保護者との連絡を密にし，身なりや出席状況について定期的に指導を行う。 | ④⑥ | A | B | <ul style="list-style-type: none"> ・ 規範意識の向上 ・ 基礎学力の向上 |
| | | 授業担当者との連携し，授業に主体的に参加する態度を育成する。 | ① | B | | |
| | 将来を見すえて，計画的で意欲的な生活を送らせる。 | 学校行事や道徳の授業等を通して，挨拶の励行，人や社会との関わりについての考察など，在り方生き方の自覚を深めさせる。 | ⑤ | B | | |
| | | HRや学年集会を通して，部活動加入や資格取得への取り組みを促す。 | ⑦⑧ | B | | |
| 第2学年 | 基本的生活習慣の確立 | 朝の学習の時間を活用し，基礎学力の向上を図る。 | ① | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路指導の充実 ・ 社会人としてのマナーの再確認 ・ 基礎学力の最終確認 |
| | | 進路指導部と連携して行事を行うことで，早期から進路意識の向上を図る。 | ⑩ | B | | |
| | 成績不振者に対する指導 | 服装頭髪検査を月1回実施し，家庭と連携しながらマナーアップに努める。 | ④⑥ | B | | |
| | | 情報交換の場を多く設け，学年・教科・家庭での共通理解に努める。 | ④ | B | | |
| | 進路意識の向上 | 課題や補講により次学期への持ち越しがないようにする。 | ①⑬ | B | | |
| 第3学年 | 進路指導の充実を図る | 課題や補講により次学期への持ち越しがないようにする。 | ①② | A | | |
| | | 進路指導部との連携を密に講演会や適性検査を有効利用に努める。 | ⑩⑪ | C | | |
| | 資格取得の奨励 | 3年生の進路状況に興味を持たせ，次年度の自分に重ね合わせるよう指導。 | ⑩⑪ | B | | |
| | | 交通安全指導 | 生徒指導部と連携をして交通安全指導を充実させる。 | ④⑥ | B | |
| 第3学年 | 進路指導の充実を図る | 自己の進路目標を早期決定できるようにアドバイスする。 | ⑩⑪ | A | B | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の向上。 ・ 遅刻者への指導。 ・ 社会人となるためのマナーや態度の育成。 |
| | | 進路集会や各種適性検査を有効活用し，併せて面接指導の充実を図る。 | ⑩⑪ | B | | |
| | 基礎学力の向上に努める | 補習等を実施して合格率の向上に努める。 | ③⑪ | C | | |
| | | 「朝の学習の時間」や，課外等を充実させ，資格取得者数の向上を図る。。 | ③ | B | | |
| | 人間性の育成 | 進路目標に向け，自ら学習に取り組む姿勢を育てる。 | ②③ | B | | |
| 械科 | 基礎・基本の徹底。特に技術力の向上を目指す。 | 「朝の学習の時間」を有効活用し，基礎学力の向上を図る。 | ① | C | | |
| | | 規範意識の高揚を図り，社会人となる自覚・責任を持たせる指導の充実を図る。 | ④⑥ | B | | |
| | 勤労観・職業観の育成を図る。 | 学校行事や校外活動への積極的参加を促す。 | ⑧⑨⑭ | B | | |
| | | 資格取得指導の充実を図る。 | 「省エネカー大会」や「ものづくりコンテスト」等，機械の知識・技術を競う各種大会に出場させることで日々研鑽を積みませ生徒の技術力向上を目指す。 | ①③ | A | |
| | 地域との連携を強化する。 | | ものづくりの面白さを体験させ，企業が必要とする工業についての確かな技術を有する人材を育成する | ③⑩ | B | |
| 資格取得指導の充実を図る。 | | 企業の求める人材を育成するため，インターンシップに参加させる。 | ⑩⑪ | A | | |
| | | 「課題研究」を通して学習への成就感・達成感を体得させる。また，発表会を行いプレゼンテーション能力の向上を図る。 | ②③⑧ | A | | |
| 電子機械 | 安全教育の徹底 | 補習の実施，指導法を工夫して合格率向上を図る。 | ①②③ | B | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物等の期日内提出の指導強化 ・ 実習内容等の見直し ・ 5 Sを自覚させる |
| | | 資格取得の推進 | 資格取得を積極的に推進し，生徒の進路実現に向けた支援を行う。 | ⑩⑪ | | |
| | ものづくり教育の充実を図る。 | 「産業祭」や「科学の祭典」等，地域で行われるイベントに積極的に参加し本校をPRするとともに参加生徒の積極性や社会性を育成する。 | ②⑭ | A | | |
| | | 出前授業を計画し，地域との連携を図る。 | ⑨⑭ | B | | |
| | 地域社会との連携 | 実習をとおして，3 S（整理，整頓，躰）を自覚させる。 | ④⑫ | B | | |
| 資格取得の推進 | 実習内容（計測実習，製作実習，パソコン実習，溶接実習）の工夫改善を図る。 | ①②③ | B | | | |
| | 地元企業と連携を図りながら企業実習を実施する。 | ③⑪ | B | | | |
| | 社会人講師を活用し，技能検定試験の合格率向上を目指す。 | ③⑪ | B | | | |
| 地域社会との連携 | 地域のイベントに積極的に参加し，本校のPRに努める。 | ⑭ | A | | | |
| | イベントグッズの製作を行うなど，関連機関との連携を行う。 | ⑭ | A | | | |

| | | | | | | |
|-----------------------|--|--|-----|---|---|---|
| 電 気 | 資格取得指導の充実を図る。 | 生徒一人一人の個性に合わせたきめ細やかな指導を行い、電気関連の資格取得指導を充実させ、合格率の向上を図る。 | ①②③ | C | B | <ul style="list-style-type: none"> 資格合格率の向上 電気工事コンテストへの参加 地域イベントへの積極的な参加 実習項目の見直し |
| | 専門教科指導の充実を図る。 | 各専門教科を通して、「ものづくり」の楽しさを体験できるように適切な教材を作成に努める。 | ③ | B | | |
| | | 「電気工事コンテスト」への参加を通じ、専門的な知識や技術の習得を促す。 | ③ | C | | |
| | | 課題研究発表等での、「プレゼン」能力を高めさせるよう指導に努める。 | ③ | B | | |
| | 地域との連携を強化する。 | 古河市主催で実施されている関東ト・マカ祭や青少年のための科学の祭典に積極的に参加し、「ものづくり」を通して地域に工業高校をPRする。 | ⑭ | B | | |
| | 基本的生活習慣の確立を図る。 | 実習における少人数授業を活用し、生徒との関わりを通して、実社会において必要なルールやマナーなどの指導をする。 | ④ | B | | |
| 国 語 | 読む力をつける。 | 音読を行う。 | ① | B | B | |
| | | 文章から必要な情報を抽出し、正しく理解するように読み取る。 | ① | B | | |
| | | 各ジャンルの作品の特長を正しく理解し、必要に応じた読解力を養う。 | ① | B | | |
| | 書く力をつける。 | 語彙を増やすために、積極的に意味調べを行う。 | ① | B | | |
| | | 読みやすい字を書くように努め、必要な情報を正しくノートに執る。 | ① | B | | |
| | | 漢字語彙力を増やす。 | ① | B | | |
| | 話す力をつける。 | 正しい言葉遣いで発表する。 | ① | B | | |
| | | 必要に応じて相談、質問が適宜出来るように努める。 | ①② | B | | |
| 地 歴 ・ 公 民 | 基本的な事項・事柄を精選した授業を展開し、社会に関する基礎的な知識を身につけさせる。 | 具体的事例や時事問題をを取り上げるなど、生徒が理解しやすい授業の展開・工夫に努める。 | ① | B | B | |
| | | 課題やプリントを作成し、生徒が意欲的に授業に参加できる環境を整えたとともに、提出させることで学習達成状況の確認に努める。 | ①② | B | | |
| | | 成績不振者に対する、補習授業や課題学習に積極的に取り組む。 | ①② | B | | |
| | 社会的事象及び歴史的事象に対する関心を高める。 | 作業的学習を積極的に取り入れる。 | ①② | B | | |
| | | 視聴覚教材の積極的な活用を図る。 | ① | B | | |
| 数 学 | 基礎計算力を高める。 | 計算過程の復習を繰り返し、基礎計算の定着を図る。 | ① | B | B | <ul style="list-style-type: none"> 基礎計算力 生徒が自ら取り組める環境の充実 数学検定 |
| | 数学的思考力を養う。 | 課外授業や補習授業を行い、個別指導の充実を図る。 | ①② | A | | |
| | | プリントによる問題演習や小テストを実施し、生徒が自ら取り組める環境を充実させる。 | ①② | C | | |
| | | 生徒が数学検定を受けられる環境を作り、生徒の学習活動を促す。 | ②③ | D | | |
| 理 科 | 理科への興味関心を高める。 | 身近な話題や工業科目との関連を意識した題材を取り上げ、理科への興味・関心を高める。 | ① | B | B | <ul style="list-style-type: none"> 実験を増やす |
| | 学習に向かう姿勢を育成し、基礎的学力、基本的な知識の確実な定着を図る。 | 授業態度や課題提出の指導を強化し、授業に臨む意識や態度の向上を図る。 | ①② | B | | |
| | | 「科学と人間生活」においては、科学的な一般常識の修得に重きをおいた授業を展開する。 | ① | A | | |
| | | 小・中学校レベルの内容に戻りながら、基本的な法則や公式の確実な修得に重きをおいた授業を展開する。 | ① | A | | |
| | 科学的思考力を養成する。 | 実験・観察や問題演習を通して、科学的に考える力や知識を活用する力を養わせる。 | ① | C | | |
| | 生徒の能力に応じた指導を行う。 | 成績不振の生徒には補習を定期的に行う。 | ② | B | | |
| | | 工業科と連携し、工業系資格の合格者数の増加を目指す。 | ③ | B | | |
| 保 健 体 育 | 服装指導の徹底 | 授業開始時、服装の乱れを指摘しチェックを行い、規範意識の高揚を図る。 | ④ | B | B | |
| | 運動技能と体力の向上を図る。 | 自己の能力に応じた運動の課題に対し、適切な指導・アドバイスを行う | ② | B | | |
| | あいさつ指導の徹底 | 各種競技に関連する運動を積極的に授業に取り入れ、生徒の体力レベルを県平均まで引き上げる。 | ①② | C | | |
| | | 教員側から正しいあいさつを示し、あいさつ指導の充実を図る。 | ④ | A | | |
| | | 始業時、終業時の整列を徹底する。 | ①④ | B | | |
| | 自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 | 的確な思考・判断に基づいて適切な意志決定を行い行動選択ができるよう、保健の授業を通じさまざまな知識や情報を伝達し、理解を深めさせる。 | ① | B | | |

| | | | | | |
|----|---|---|----|---|---|
| 書道 | 書の基本技術及び書写能力の向上を図る。 | 個々に応じた指導を積極的に行い、表現力や全体の構成力を養う。 | ①② | | |
| | | 書への関心・感性を高め、書の伝統と文化についての理解を深める。 | ①② | | |
| 英語 | 基礎学力の向上を図る。 | 課外授業や補習授業を行い、個に応じた指導に努める。 | ①② | B | B |
| | | 基礎的・基本的な文法事項を丁寧に説明し、確かな学力の定着を図る。 | ① | B | |
| | 授業内容の定着を図る。 | プリント学習を通して問題演習を行い、授業における内容理解の定着に務める。 | ① | A | |
| | | 視聴覚教材を利用し、授業内容に対する興味・関心を高める。 | ① | B | |
| | 英語活用能力を養う。 | 生徒が四技能を活用する場面を出来るだけ多く設定し、総合的な英語運用能力を養う。 | ①② | C | |
| | | リスニング英語検定・英語検定希望者に対し、課外を行い、合格率の向上を図る。 | ①③ | A | |
| 家庭 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る。 | ライフステージに沿った基礎的・基本的な知識と技術が身につくよう指導する。 | ① | A | A |
| | | 被服実習・調理実習について基礎から指導し、技術の定着を図り、青年期の自立と共生という視点から、実習を通して基本的・社会的な生活習慣が身につくよう指導する。 | ①② | A | |
| | 自己管理能力の向上を図る。 | 食育の観点から、高校生として望ましい食生活を考えさせる。 | ①④ | A | |
| | わかりやすい授業の工夫に努める。 | 簡単な実験や作業を取り入れて、興味を引き出す。 | ①② | A | |
| | | 身近な話題や最近の消費者問題、食事と健康の関連性などを取り上げ、生徒が関心を持つ教材を工夫する。 | ①② | A | |

※評価基準 A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない